

J-SLA ニュース・レター 2015 年 8 月号

暦の上では秋となりましたが、毎日暑い日が続いております。J-SLA 会員の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。さて、今回のニュース・レターは、サマーセミナーの報告と PacSLRF についてのお知らせ、及び事務局からのお願いです。

報告： サマーセミナー2015

8月17日(月)・18日(火)・19日(水)の3日間、八王子セミナーハウスにて2015年度サマーセミナーが開催されました。17日は天候が悪く、また交通機関の乱れもあったため、参加者が会場に到着できるか不安でしたが、なんとか34名の参加者が集まることができ、無事サマーセミナーを終えることができました。参加者の皆様、お疲れさまでした。

初日の午後には5件の口頭発表があり、夕食後はワークショップを行いました。2日目には、6件の口頭発表に加え、3件のポスター発表と論文を投稿する際の要旨の書き方に関するチュートリアルもありました。研究発表はいずれも興味深く、発表後には活発な質疑応答が行われました。また、2日目の夜の懇親会では、日本各地から集まってきた他大学の学部生、大学院生、そして教員らが和やかな雰囲気の中で歓談し、親交を深めることもできました。以下に3日間のプログラムを掲載します。

8 月 17 日 (月)

口頭発表 1 横田秀樹・若槻瑞穂 (静岡文化芸術大学)

NP-DP のマッピングエラー—日本語母語話者による所有格の習得—

口頭発表 2 田村知子 (静岡大学)

On the acquisition of English prefixes among Japanese EFL learners

口頭発表 3 岡山 涼 (名古屋大学)

日本語学習者による日本語名詞修飾節の理解

口頭発表 4 Jones, Sally Ann (名古屋大学)

The L2 acquisition of the Japanese *-te* form by L1 English speakers

口頭発表 5 大熊富季子 (静岡県立大学)

The Interface Hypothesis and ambiguity resolution in L2 Japanese

ワークショップ 担当：若林茂則

第二言語習得および使用に関する研究について—知っておくべき古典的研究—

8 月 18 日 (火)

口頭発表 6 柳沢明文 (信州大学)

第二言語語彙学習における意味想起と形式想起の機会の影響

口頭発表 7 岩崎永一 (早稲田大学)

There 存在文の意味論: 変項詞としての there

ポスター発表

吉田璃子 (中央大学)

The acquisition of the present perfect form—なぜ現在完了形は難しいのか—

松元貴之・清水瞬 (中央大学)

「動作動詞・状態動詞」と「単純形・進行形」と時を表す副詞「毎日」「今」の共起に関する日本人の英語学習者の判断

藤井博之・市嶋拓也・星野涼平 (中央大学)

Do Japanese learners of English recognize stage-level and individual-level collocation restrictions?

口頭発表 8 大山健一 (東京電機大学)

現代版「接続」仮説の提唱—有標素性仮説と音声優位性仮説の適応と課題—

口頭発表 9 久米啓介 (南山大学)

日本人 L2 英語学習者の冠詞習得における意味素性の役割

口頭発表 10 樋田智美 (京都大学)

言語学・心理学・音楽学・脳科学からみる SLA 研究への学際的考察—言語能力と音楽的能力の相互作用—

口頭発表 11 望月孝太 (静岡大学)

日本人英語学習者による be+ing の習得

チュートリアル 担当: 稲垣俊史

第二言語習得研究の要旨の書き方

8月19日(水)

閉会式・記念撮影

参加されたみなさんにとって、今回のセミナーが今後の研究に役立つ有意義な3日間であったことを願っております。なお、セミナーへのご意見やご要望などがありましたら、J-SLA事務局 柴田美紀 (shibatam@hiroshima-u.ac.jp)までご連絡ください。

なお、2016年のサマーセミナーは開催いたしませんので、ご了承ください。

お知らせ: PacSLRF2016

1. PacSLRF2016の運営委員が決まりました。詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.j-sla.org/pacslrf/jp/committee/>
2. 基調講演者の Ianthi Maria Tsimpli 氏がケンブリッジ大学に移られました。ホー

ムページは現在の所属を記載しております。

事務局よりお願い

学会誌 **Second Language** の Part III に会員名簿があり、氏名と所属機関が日本語・英語で記載されております。所属機関など変更がある場合は、速やかにご連絡いただきますようお願いいたします。特に新規会員以外の方は、連絡をいただかない限り、登録時のままで記載されてしまいます。ご多忙のところ、お手数をおかけいたしますが、何卒ご協力をお願いいたします。なお、変更手続きは、J-SLA ホームページの <http://www.j-sla.org/inquiry/> からお願いいたします。

ニュース・レター及び J-SLA に関する問合せ：柴田美紀 shibatam@hiroshima-u.ac.jp